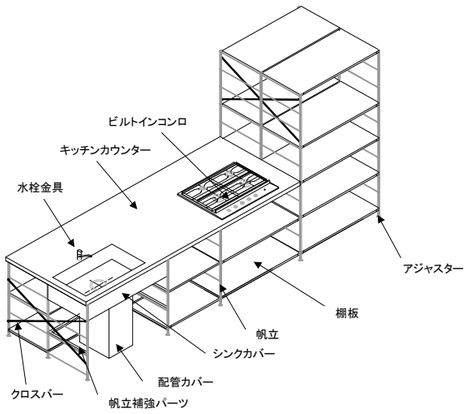
sanwa company

ステンレスユニットシェルフキッチン　取付・設置説明書

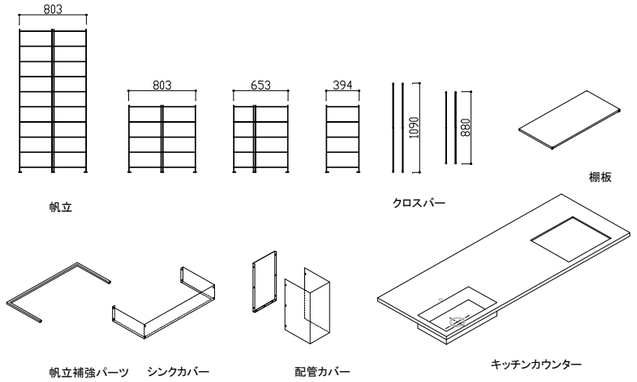
■ 組立・設置説明書

○ 完成図・製品の名称

本図はシェルフ連結タイプ カウンター奥行き820タイプを示す。



○ パーツリスト



○安全上のご注意

■ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載してあります。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明してあります。

⚠ 注意　⃠ 禁止　❗ 実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負うことが想定される危険の程度。

- ❗ ステンレス製のパーツを取扱う時は、必ず保護手袋をしてください。（切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。）
- ❗ 壁面への固定、床面への脚固定金具の固定（アイランドタイプ）を確実に行なってください。キッチンの転倒によるケガ、家財の損傷、火災の原因となることがあります。
- ❗ 電気工事・ガス工事・水道工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者が行ってください。火災・関電・ガス漏れ・水漏れの原因となることがあります。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合、使用者が障害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

- ❗ ステンレスはサビにくい素材ですが、湿気や汚れを付着したままにしておくとサビが発生する場合があります。工事中の鉄くずなどがステンレス面に残っていると、もらい錆（サビが移る）の原因となります。施工後のクリーニングをお願いします。
- ❗ 排水トラップ・排水ホース・防臭キャップの取付は確実に行ない、防臭キャップと排水管の接続はシーリング材でシールをしてください。（臭気のもれ、湿気が上がり床などが腐る原因となります）
- ❗ 組込まれる加熱機器・水栓金具・レンジフードなどについてはそれぞれの取付設置説明書・注意表示どうりに正しく取付を行う。思わぬ事故や故障となることがあります。

○組立・設置前の確認とご注意

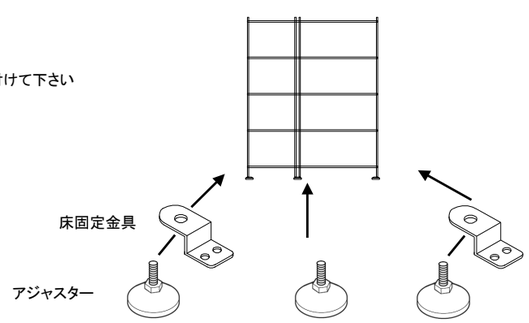
- 商品の品質確保のため、搬入・搬送は必ず手運びでお願いします。
- 荷受けした商品はご発注控え又は納品一覧表を基に、品番・数量を確認してください。
- 商品を開梱したら外観に損傷がないかご確認ください。
- 組立・設置現場の確認

設備図面どうりに一次工事ができているか以下の項目を確認ください。
① 設置場所の間口寸法、床の水平、壁の垂直、ｺｰﾅｰ部の直角
② 窓枠や建具の位置と寸法
③ 取付桟の位置と寸法
④ 必要な給湯水管・排水管・ガス配管・電気配線の位置と接続方法
⑤ ｶﾞｽ種、電圧（100v・200v）
⑥ 火災予防条例に準拠したレンジフード、コンロの設置場所と可燃物との離隔寸法。
⑦ 商品の搬入経路　搬入経路巾。

組立・設置をされる方へのお願い
■取付・設置前に、この「取付・設置説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
■設置完了後に各部の点検を行ない、異常の無いことを確認してください。
■本体に同梱されている取扱説明書等はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れの無い様に保管し、取付・施工完了後、お客様にお渡しください。

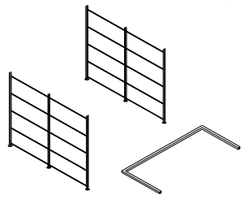
○ 設置手順

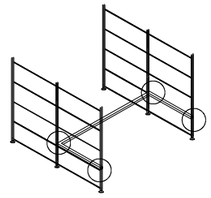
1　アジャスターに床固定金具を差込み、帆立前後の脚に取付けて下さい
中央の脚には床固定金具は不要です。



2　帆立補強パーツの取付　シンクの真下に設置される帆立を立て、下から2段目のフレームに帆立補強パーツ乗せて、座金(蝶々型)とボルトで取付けてください。先に背面側を固定してから、前面側を固定してください。

座金(蝶々型)　･･･4ヶ
ボルト　･･･4ヶ

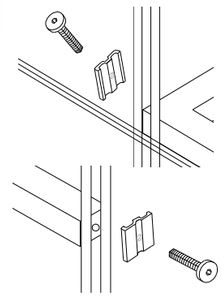

帆立補強パーツ


下から2段目のフレーム部に設置

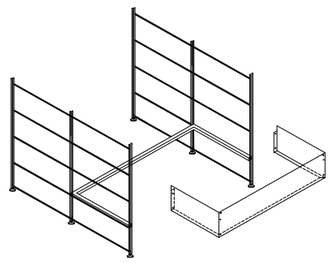
座金を使用して、帆立と帆立補強パーツをボルトで固定してください。

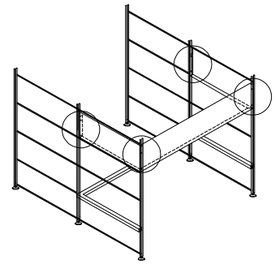
背面　2ヶ所

前面　2ヶ所

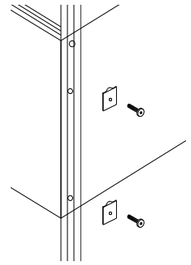


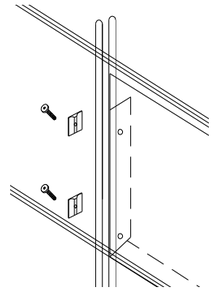
3　シンクカバーの取付　帆立補強パーツを取付けた帆立の上部に、シンクカバーを取付てください。





座金(タップ無し)　･･･8ヶ
ボルト　･･･8ヶ





前面　左右　2ヶ所
一番上の穴は連結タイプのみ使用します。

背面　左右　2ヶ所

座金を使用して、帆立とシンクカバーをボルトで固定してください。

4　調理面となるスペースに帆立を立て、棚板を取付けてください。

棚板取付手順

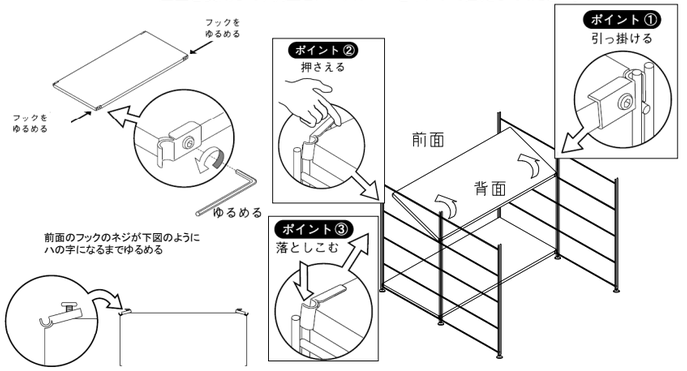
① 棚板前面に固定されているフックのネジをそれぞれ、六角レンチで
フックが自由に動く状態まで緩めてください。(背面のネジはゆるめません)

② 棚板を斜めにして、背面のフック2ヶ所をまず帆立の帆立柱に引掛け【ポイント1】
前面のフックを指で手前に押えながら【ポイント2】
帆立柱に引掛けて落し込みます。【ポイント3】

③ フックのボルトを少しずつ締め込んで仮止めしてください。

④ 同じ要領で2段目（設置する場合）の棚板を取付けてください。

詳しい取付方法は、ユニットシェルフ組立・取扱説明書を参照ください。
注意：　帆立補強パーツの隣に同じ高さでの棚板の取付はできません。



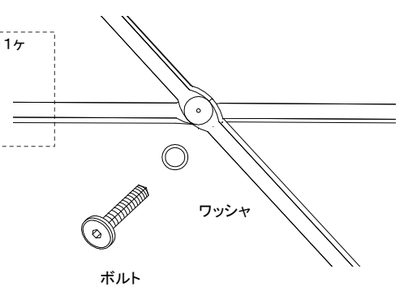
5　コンロ面となるスペースに帆立を立て、 4 の要領で棚板を取付てください。

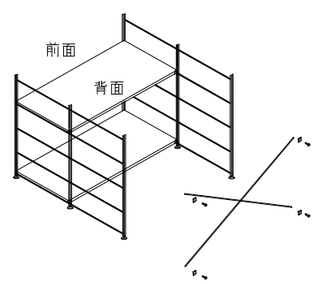
6　シェルフ連結タイプ場合、ここで帆立を立て、 4 の要領で棚板を取付てください。

7　クロスバーの取付　クロスバーの中心を重ねてボルトとスプリングワッシャーで仮止めします。
シェルフの背面側から帆立をボルトとクロスバーではさんで六角レンチを使い固定してください。
クロスバー中心のとボルトを六角レンチを使い増し締めしてください。
連結シェルフのみクロスバーを上下に2組取付けてください。

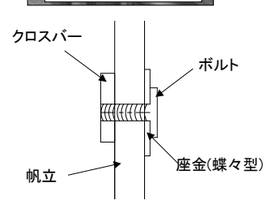
※D415とD670は壁面に取り付ける場合は、帆立の背面に取り付けてください。
※クロスバー、棚板の位置は施工図面を参照してください。

クロスバー中心用ボルト　･･･1ヶ
座金(蝶々型)　･･･ 4ヶ
ボルト　･･･ 4ヶ
ワッシャ　･･･ 1ヶ
（クロスバー1セットあたり）





帆立への取付け状態



TSSA-09560

8 側面用クロスバーの取付

① クロスバーを重ねてボルトとスプリングワッシャーで仮止めしてください。

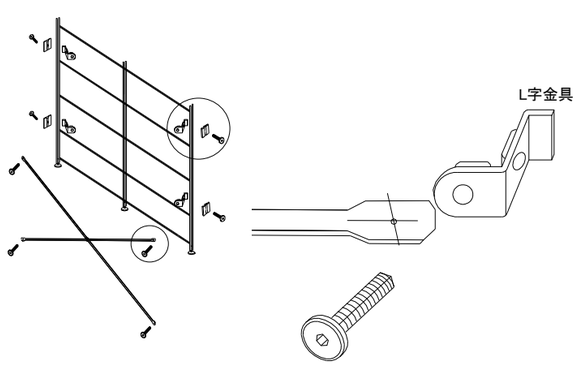
② クロスバーの先端にL字金具をボルトで仮締めしてください。

③ 帆立の内側からL字金具を引掛け、座金とボルトで仮締めしてください。

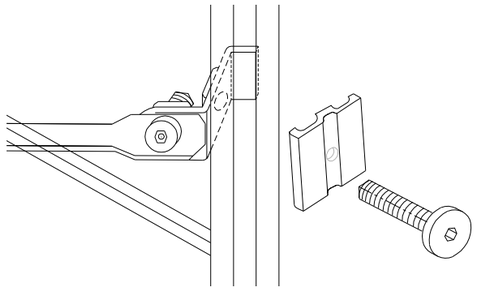
④ クロスバーの中心が帆立高さの中心になるよう位置決めして、ボルトを増し締めします。

※連結シェルフにはクロスバーを上下に2組取付けてください。

クロスバー中心用ボルト ･･･1ヶ
L字金具 ･･･4ヶ
座金(タップ無し)･･･4ヶ
ボルト ･･･ 8ヶ
ワッシャ ･･･ 1ヶ
（側面クロスバー1セットあたり）



クロスバーとL字金具の固定

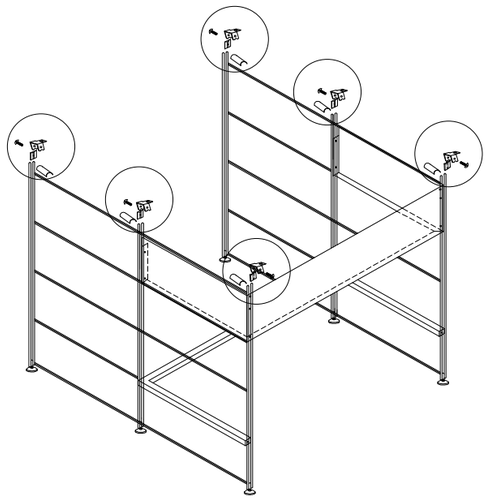


L字金具と帆立の固定

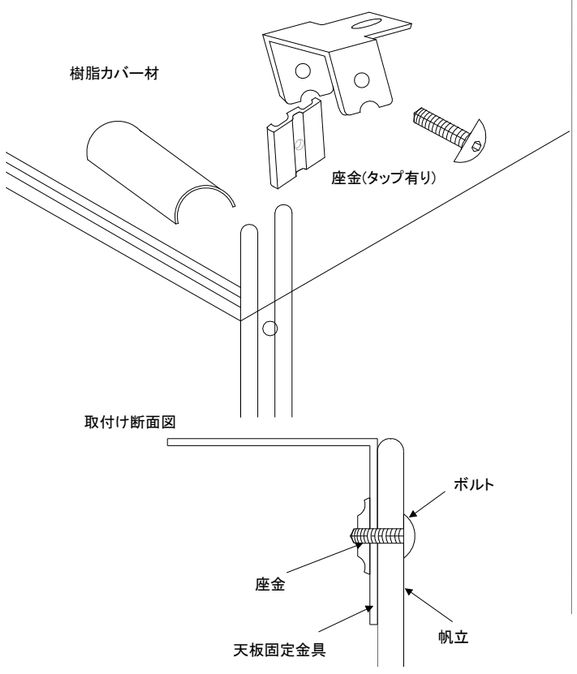
9 背面帆立に棚板を設置する場合、 4 の要領で棚板を取付けてください。

10 天板固定金具の取付

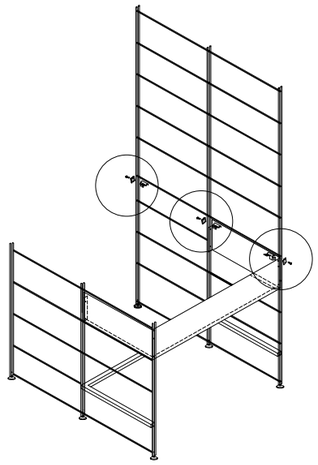
①天板固定金具①の内側にに座金を入れ、ボルトを5～6回り締めて仮固定します。
帆立の天板固定金具の当たる位置に樹脂カバー材をかぶせます。
天板固定金具①の長穴を内側に向けて、帆立柱をまたがない様に取付けてボルトで固定します。
（帆立中央部は背面側の帆立柱に取付）



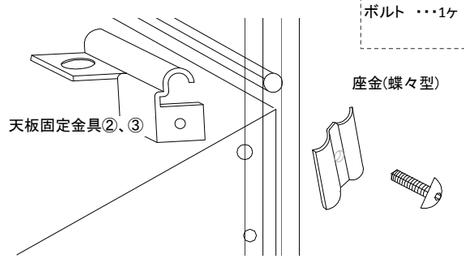
天板固定金具①



②シェルフ連結タイプの場合、帆立の下から5番目横バーに天板固定金具②、③を長穴を内側に向けて帆立に引っ掛け、座金とボルトで固定してください。



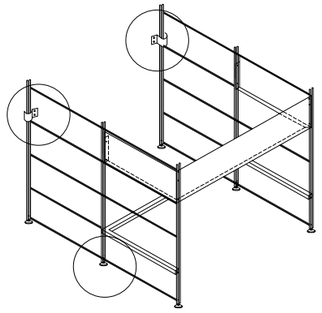
天板固定金具②･③ ･･･1ヶ
座金(蝶々型) ･･･1ヶ
ボルト ･･･1ヶ



シンクカバー正面側の天板固定金具は、シンクカバー上部の穴を使用して固定してください。

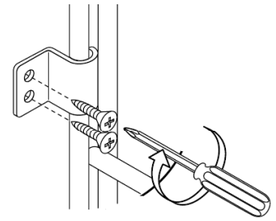
12 レベル調整

①アジャスターを調整して、水平器等でレベルを出してください。
②帆立の垂直を確認し、クロスバーのボルトを本締めしてください。
③棚板のボルトを本締めしてください。

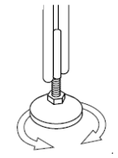


13 壁固定金具の固定

壁付けタイプの場合、帆立の背面側帆立柱の上側に壁固定金具を引掛けて金具に附属のネジにて固定してください。



壁固定方法



アジャスター調整方法

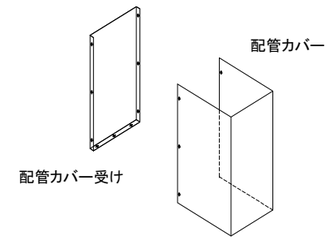
14 床固定金具の固定

シェルフ組立寸法に問題ないか確認し、床固定金具から床へ付属ネジで固定してください。
床固定時は下段の棚板を外して作業をしてください。
床固定後、棚板は元の位置に取付けてください。
（床からの給排水・電源などの立上りが問題ない位置か確認してください）
注意:床がタイルの場合は割らないように気をつけて固定してください。

15 配管カバーの設置

①配管カバーの幅・奥行内に給排水配管が納まることを確認してください。
②配管カバー受けを附属のタッピングネジで床に固定してください。
③配管カバー受けに配管カバーを手前側から被せて、付属のM4ネジにて固定してください。

SUSトラスタッピングネジ 3ヶ
SUSトラスM4コネジ 6ヶ



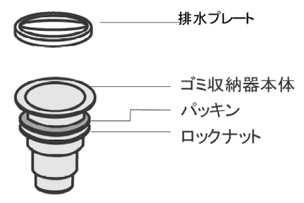
16 キッチンカウンター設置

シェルフの上にカウンターを乗せ、帆立との位置関係を確認してから、天板固定用ネジにて固定してください。
※必ず付属の天板固定用ネジを使用して下さい。
他のビスを使うと、天板に突き傷をつける恐れがあります。

天板固定ネジ AトラスTP 3．5X12 ･･･12ヶ
キッチンカウンターに付属

17 排水トラップ設置

シンク排水穴に排水トラップを取付てください。
取付順序は右図の通りとし、パッキンはシンク上側に設置します。
ナットは専用の別売工具を使用し、確実に締めてください。



18 水栓金具・コンロなど設備器具設置

機器同梱の設置要領に従って取付ます。

19 施工後の調整・確認

●調整 キッチン及びシェルフ各部のガタツキや器具の傾き等ないか確認し、調整をおこなってください。

●確認 ①施工後のクリーニング
ユニットのホコリ・汚れを柔らかい布で拭き取ってください。
②養生
内装工事が続いている時や、引渡しまでに日数がある場合は、養生を行ってください。
③機器類の試運転
機器類は付属の取扱説明書に従って、施工後の点検「試運転」を行ってください。